

2025年12月期 上期決算説明資料

（上期の総括・今後の経営方針）

2025年8月7日



アサヒグループホールディングス株式会社



目次（リンク）

1. [エクゼクティブ・サマリー](#)
2. [自己株式取得の概要](#)
3. [<参考> 主要指標および財務方針（2025-2030年）](#)
4. [<参考> キャピタルアロケーションの方針](#)
5. [プレミアム戦略の進捗](#)
6. [日本・東アジア：総括と方針](#)
7. [日本・東アジア：主なトピックス](#)
8. [欧州：総括と方針](#)
9. [欧州：主なトピックス](#)
10. [アジアパシフィック：総括と方針](#)
11. [アジアパシフィック：主なトピックス](#)
12. [サステナビリティ](#)
13. [情報開示体系](#)
14. [<参考> Regional Headquarters体制変更による影響](#)
15. [決算ハイライト（売上収益・事業利益）](#)
16. [営業利益・親会社の所有者に帰属する中間利益](#)
17. [財政状態計算書・CF計算書・各種指標](#)
18. [日本・東アジア](#)
19. [欧州](#)
20. [アジアパシフィック](#)
21. [為替影響（上期実績）](#)
22. [為替影響（年間修正予想）](#)
23. [日本・東アジア（日本酒類：売上収益・販売数量）](#)
24. [日本・東アジア（日本飲料：販売数量）](#)
25. [四半期業績](#)

◆ 上期総括

- 事業利益（為替一定）は3.2%の減益となるも、「日本・東アジア」※¹や欧州の着実な増益に加えて、「アジアパシフィック」※¹の減益幅が想定より縮小したことにより、トータルでは計画を上回る進捗
- 最適な価格戦略とプレミアム戦略による単価向上、AGPRO※²や全地域のコストマネジメントの推進

◆ 今後の方針

- 成長投資の継続や収益構造改革の加速により、上方修正した事業利益計画（為替一定：4.1%増）の着実な達成と来期以降の成長基盤を強化する
- 2030年のガイドライン達成に向けて、自社株買いなど資本コストや株価を意識した施策を実行する

※1 本年4月にセグメント変更（Regional Headquarters間の事業移管）を実施。詳細は14ページ参照

※2 AGPRO：Asahi Global Procurement Pte. Ltd.（グローバル調達を推進する組織）

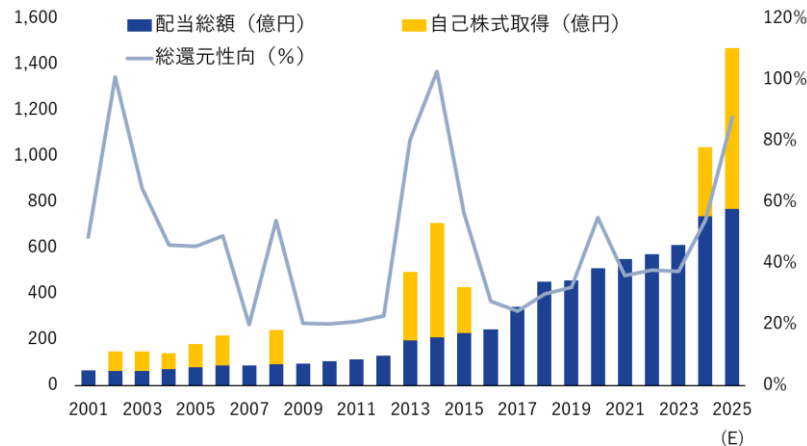
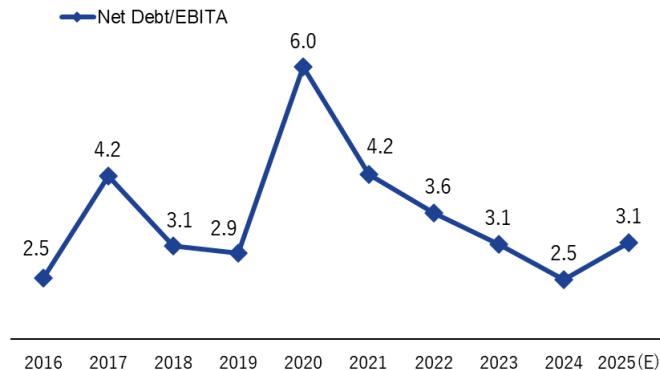
自己株式取得の概要

- 2030年のガイドライン達成に向けて、資本コスト・株価を意識した経営を実践すべく、自社株買いを実施
- 来年以降も、2020年のCUB買収時の公募株数（約15,000万株に相当※）の買戻しを実行していく

※2024年に実施した1：3の株式分割を反映後

◆ 今期における自己株式取得枠の設定

- ・ 取得上限：700億円もしくは4,500万株 取得期間：2025年10月1日～12月23日
- ・ 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：3.0%



< 参考 > 主要指標および財務方針（2025-2030年）

- 収益性指標は、利益成長と資本政策が反映されるEPSのCAGRに一本化し、「一桁台後半から二桁」をコミット
- 資本効率の向上が急務であり、ROEとROICを主要指標に追加し、資本コストとのスプレッドを拡大する

主要指標	2030年までのガイドライン	2024年実績
E P S	CAGR：一桁台後半～二桁	126.7円
（調整後EPS）※1	CAGR： //	（120.7円）
R O E	11%以上 ※株主資本コスト（8%程度）	7.5%
（調整後ROE）※2	（14%以上）	（10.7%）
R O I C ※3	10%以上 ※WACC（5.5～6%程度）	6.9%

※1 事業ポートフォリオの再構築や減損損失など一時的な特殊要因を除くベース

※2 調整後親会社の所有者に帰属する当期利益（事業ポートフォリオの再構築や減損損失など一時的な特殊要因を除くベース）を親会社の所有者に帰属する持分合計（但し、在外営業活動体の換算差額とその他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品への投資の公正価値の変動などを控除したもの）で除して算出。

※3 税引後事業利益を純有利子負債と親会社の所有者に帰属する持分（但し、在外営業活動体の換算差額とその他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品への投資の公正価値の変動などを控除したもの）の合計で除して算出。

財務方針	2030年までのガイドライン	2024年実績
株主還元	DOE：4%以上を目指した、累進配当 + 機動的な自社株買い	2.9%
財務健全性	Net Debt/EBITDA：2.5～3倍程度を維持	2.49倍

<参考> キャピタルアロケーションの方針

- オーガニックな戦略投資の拡大や目指す事業ポートフォリオの実現に向けた投資により、持続的成長を図る
- 成長投資に加えて、資本効率の向上や株主還元の充実にも資本を配分し、中長期的な企業価値の向上を目指す

<p>営業CF</p> <p>(2030年) 4,500~5,000億円</p> <p>成長戦略や収益構造改革の推進に加え、資本効率を重視して営業CFを拡大</p>	<p>オーガニック成長投資</p> <p>(2025~2027年) 毎期1,700~2,000億円</p>	<p>経常投資</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 生産・研究設備やオフィス・ITインフラ設備などの更新
		<p>戦略投資</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ プレミアム戦略を推進する各地域の設備増強、コア戦略(サステナビリティ・DX・R&D)や経営基盤強化への投資を拡大
	<p>資本効率向上 株主還元の充実</p>	<p>安定的増配</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ DOE 4 %以上を目指した累進配当の実施
		<p>自社株買い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 機動的な自社株買いでEPSやROEのガイドライン達成に繋げる(2020年CUB買収時の公募株数(約15,000万株)の早期買い戻し)
<p>財務CF</p>	<p>インオーガニック成長投資</p>	<p>M&Aなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 目指す事業ポートフォリオの実現に向けた投資の検討 ➤ 財務基準 (IRR>ハードルレートなど) に基づく規律ある投資
	<p>財務健全性</p>	<p>金融債務 返済・調達</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 積極的な成長投資に備えた財務健全性の確保 (Net Debt/EBITDA2.5~3 倍程度)

● ビール類+ビールテイスト飲料カテゴリー2025年上期実績（前年比）

	日本・東アジア	欧州	アジア パシフィック	3地域計
単価上昇率 (酒税抜き)	+4.3%	+1.5%	△1.1%	+2.0%
売上収益	+1.1%	△2.0%	△2.2%	△1.2%
販売数量	△3.1%	△3.5%	△1.1%	△3.1%

※「日本・東アジア」は日本酒類、「アジアパシフィック」はオセアニアのカテゴリ実績

グローバル ブランド 販売数量 (前年比)	<Asahi Super Dry>	<Peroni Nastro Azzurro>	<5ブランド計>	BAC (前年比)	<3地域計>
	+11%	+2%	+1%		+1%

※母国市場を除く販売数量ベース

※Beer Adjacent Categories :
ノンアルコール飲料、RTD、
成人向け清涼飲料など、
ビール隣接カテゴリー

日本・東アジア：総括と方針

(億円)	上期	増減	前年比(%)	2025年 修正予想	増減	前年比(%)	年初予想比
売上収益	6,491	112	1.8%	14,237	456	3.3%	109
事業利益	568	8	1.4%	1,404	74	5.5%	32

<上期の総括>

- 飲料や食品は計画を下回ったが、酒類や東アジアが牽引し、計画を上回る増益を達成
- 適切な価格戦略に加えて、BACなどの成長領域への投資、収益構造改革を推進

<今後の方針>

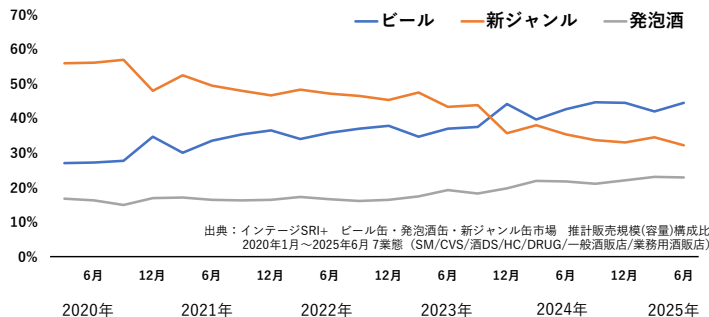
- 主力ブランドの強化、高付加価値カテゴリーの拡大などにより、上方修正した計画を達成する
- "One Asahi"としての経営基盤強化、日本とのシナジー創出による東アジアの成長加速



日本・東アジア：主なトピックス

● 日本でのビール回帰の流れ

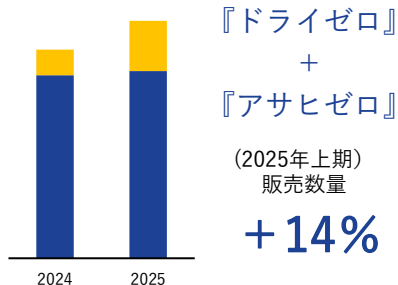
<ビール類缶市場 カテゴリー別構成比>



● 新たな成長に向けた取り組み

<ビールテイスト飲料>

■ ドライゼロ ■ アサヒゼロ



<High-Valueカテゴリー>



ニッカウキスキー社
カンヌライオンズ
国際クリエイティビティフェスティバル
インダストリークラフト部門
ゴールドライオン受賞

● ビール需要喚起に向けた取り組み

<スーパードライ>



“辛口のうまさ”を引き立てる
「冷え」を訴求

<ザ・ビタリスト>



年間販売目標を
280万箱に上方修正

<Peroni>



市場浸透に向けて
TVCM開始

● マージン向上に向けた収益構造改革（日本全体）

2027年までの効率化効果：100億円程度

<主な施策：SCM・物流の最適化>

- 省人化、ハイブリッド化、拠点最適化
- モーダルシフト、地産地消の推進 など

欧州：総括と方針

(億円)	上期	増減	前年比(%)	2025年 修正予想	増減	前年比(%)	年初予想比
売上収益	3,564	△ 100	△ 2.7%	7,486	△ 51	△ 0.7%	△ 255
事業利益	471	11	2.3%	1,070	33	3.2%	9

※為替一定の前年増減・前年比は、当年の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算し算出

※為替一定の予想比は、当年の外貨金額を、予想の為替レートで円換算し算出

<上期の総括>

- 原材料費の改善やコスト全般の効率化を推進したことにより、計画ラインの増益を達成
- 一部の国の需要減や天候不順により数量は減少したが、プレミアム化により単価向上は継続

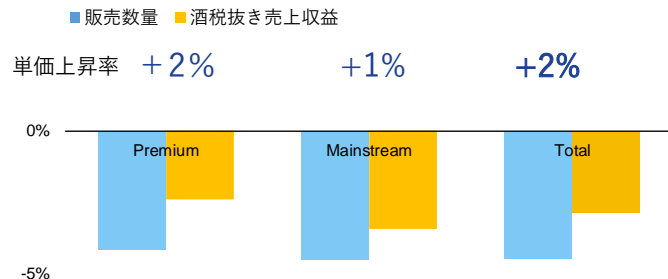
<今後の方針>

- PRGM※に基づく単価向上とコスト効率化の継続により、計画の着実な達成を目指す
- グローバルブランドへの戦略投資や収益構造改革を推進し、利益率の持続的向上を図る

※Profitable Revenue Growth Management



● カテゴリー別の成長率（2025年上期）



● ビールテイスト飲料（2025年上期）

(前年比)
販売数量 +5%
売上収益 +6%



● 『Asahi Super Dry』の成長を目指した取り組み

Arsenalとのパートナーシップ締結

- ・7月に「公式ビールパートナー契約」を締結
- ・UKサッカーファンを中心に、認知度向上を加速させていく



Octopiでの現地製造を開始

- ・3月に米国市場向けの製造を開始
- ・主要都市でメディアを活用したマーケティングを展開し、プレゼンスの拡大を図る



● マージン向上に向けた収益構造改革

2027年までの効率化効果：EUR 100M以上

(2029年までの効率化効果：EUR 150M以上)

<200以上の施策を積み上げ>

- サプライチェーンの最適化
- 固定費全般の効率化
- IT関連支出や投資の見直し など

アジアパシフィック：総括と方針

(億円)	上期	増減	前年比(%)	2025年 修正予想	増減	前年比(%)	年初予想比
売上収益	3,462	72	2.0%	7,678	344	4.4%	△ 67
事業利益	374	△ 16	△ 4.0%	1,047	25	2.3%	△ 21

※前年比は、当年の外貨金額を前年同期の為替レートで円換算し算出

<上期の総括>

- 需要減少やコストの上昇により減益となるも、効率化施策の前倒しなどにより、計画を上回る進捗
- ビール活性化に向けた施策強化、RTDやエナジードリンクにおけるブランド投資の拡大



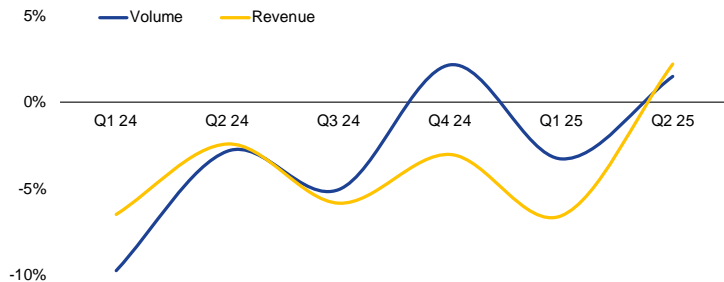
<今後の方針>

- 東南・南アジア酒類を下方修正したが、オセアニア酒類の回復を核として修正計画を達成する
- マルチビバレッジ戦略やグローバルブランド戦略など、アジアパシフィックとしての成長基盤を再構築



アジアパシフィック：主なトピックス

● 豪州におけるビール推移



● ビール強化に向けた取り組み

< Great Northern >



豪州初の直営飲食店「Northern Grounds」
がブリスベン北部のビーチリゾートにオープン

< Carlton Dry 3.5% >



ミッドストレンクスを通じて
節度ある飲酒を訴求

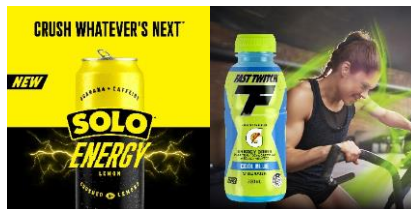
● マルチビバレッジ戦略の推進

< RTD >



豪州での成功を受け
『Hard Rated 6%』を
ニュージーランドでも発売

< エナジードリンク新発売 >



炭酸飲料『Solo』より
『Solo Energy』発売

スポーツ飲料
『Gatorade』より
『Fast Twitch』発売

● マージン向上に向けた収益構造改革

2027年までの効率化効果：AUD 70M以上

- ビールと他カテゴリー間における営業やITシステムの統合
- 固定費全般の効率化
- 製造拠点やサプライチェーンの増強・効率化
- マーケティング投資の選択と集中 など

<主な取り組み>

● 2030年のグループ目標達成に向けた取り組み

- 計画のさらなる具体化と実行の加速
 - 環境：GHG削減（Scope1,2,3） / 持続可能な容器包装
 - 責任ある飲酒
- 「Sustainability Innovation Program」を通じた脱炭素化のさらなる加速（スタートアップなど新興企業や団体との協業）



● 情報開示の高度化

- 事業 / 社会インパクトの可視化の推進
- グローバル情報開示基準への対応
- サステナビリティデータプラットフォームの構築

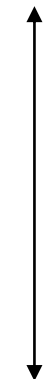


※詳細はESG戦略説明会（9月12日開催予定）にてご説明

- 統合報告書をプライマリーレポートと位置付け、企業価値の概要を示す
- セカンダリーレポートにより、各種テーマの情報を網羅的に補完

プライマリー

概要



詳細

セカンダリー



統合報告書

中長期的な企業価値向上を目的とした戦略ストーリーを体系的にまとめたコミュニケーションツールです。財務・非財務情報を統合し、アサヒグループの価値創造の全体像を開示しています。



サステナビリティレポート



人的資本レポート
People & Culture Report

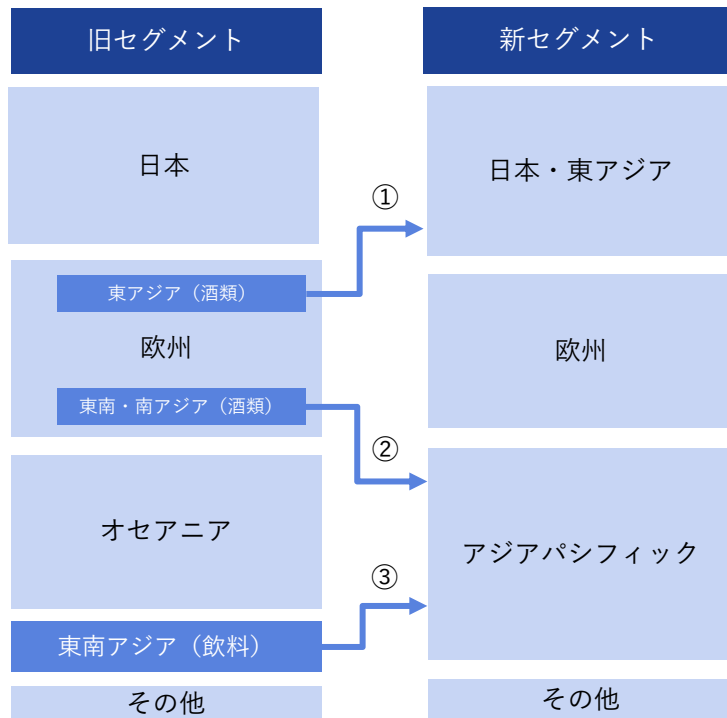


コーポレートガバナンス・レポート

2025年上期決算・年間予想の概要

< 参考 > Regional Headquarters体制変更による影響

● 開示セグメントの変更概要



● 移管事業の事業規模

	売上収益	事業利益
①	190億円程度	▲10億円程度
②	15億円程度	▲10億円程度
③	680億円程度	20億円程度

※2025年年間修正予想で新セグメント内に含めている値

● 体制変更の意義

- 迅速な意思決定と効率的な事業運営を推進するガバナンス体制への進化
- プレミアム戦略、マルチビバレッジ戦略、グローバルブランド成長戦略の加速

決算ハイライト（売上収益・事業利益）

(億円)	上期	(為替一定)	
		増減	前年比(%)
日本・東アジア	6,491	112	1.8%
欧州	3,564	△ 100	△ 2.7%
アジアパシフィック	3,462	72	2.0%
その他	124	△ 2	△ 1.3%
調整額（全社・消去）	△ 46	△ 0	-
売上収益	13,596	82	0.6%
日本・東アジア	568	8	1.4%
欧州	471	11	2.3%
アジアパシフィック	374	△ 16	△ 4.0%
その他事業	23	△ 5	△ 18.3%
調整額（全社・消去）	△ 147	△ 33	-
無形資産償却費	△ 192	△ 1	-
事業利益	1,097	△ 37	△ 3.2%

2025年 修正予想	(為替一定)		
	増減	前年比(%)	年初予想比
14,237	456	3.3%	109
7,486	△ 51	△ 0.7%	△ 255
7,678	344	4.4%	△ 67
263	9	3.5%	△ 0
△ 163	△ 56	-	△ 18
29,500	702	2.4%	△ 231
1,404	74	5.5%	32
1,070	33	3.2%	9
1,047	25	2.3%	△ 21
42	2	5.5%	6
△ 279	△ 16	-	4
△ 384	△ 0	-	0
2,900	118	4.1%	31

<上期実績>

- 売上収益は、欧州は減収となったが、適切な価格戦略やプレミアム化の進展などにより、トータルで前年比+0.6%
- 事業利益は、日本・東アジアや欧州は増益だが、アジアパシフィックの減益や、全社費用の増加などにより、トータルで前年比△3.2%
- 計画比では、売上収益は、欧州を中心に下回る進捗だが、事業利益は、主に日本・東アジアとアジアパシフィックが上回り、トータルで計画を上回る進捗

<年間予想>

- 売上収益は、上期までの進捗を踏まえ、トータルでは前年比+2.4%に下方修正
- 事業利益は、アジアパシフィックは下方修正だが、日本・東アジアを中心に上方修正し、トータルでは前年比+4.1%に上方修正

営業利益・親会社の所有者に帰属する中間利益

(億円)	上期	(為替影響込み)		2025年 修正予想	(為替影響込み)		
		増減	前年比(%)		増減	前年比(%)	年初予想比
売上収益	13,596	△ 194	△ 1.4%	29,500	106	0.4%	△ 200
事業利益	1,097	△ 62	△ 5.4%	2,900	49	1.7%	30
事業利益からの調整項目 ※1	△ 174	△ 56	-	△ 350	△ 189	-	△ 100
固定資産売却損益	△ 3	2	-	-	-	-	-
事業統合関連費用	△ 58	27	-	-	-	-	-
減損損失	△ 101	△ 101	-	-	-	-	-
その他	△ 11	16	-	-	-	-	-
営業利益	923	△ 118	△ 11.4%	2,550	△ 141	△ 5.2%	△ 70
金融収支	△ 68	△ 26	-	△ 169	△ 60	-	△ 4
持分法投資損益	△ 9	△ 8	-	△ 1	△ 7	-	△ 6
その他	28	△ 2	△ 7.8%	40	△ 43	△ 51.7%	△ 10
税引前中間利益	874	△ 155	△ 15.1%	2,420	△ 250	△ 9.4%	△ 90
法人所得税費用	△ 281	△ 24	-	△ 730	8	-	△ 10
中間利益	593	△ 180	△ 23.2%	1,690	△ 242	△ 12.5%	△ 100
親会社の所有者に帰属する中間利益	587	△ 176	△ 23.1%	1,675	△ 246	△ 12.8%	△ 100
非支配持分に帰属する中間利益	6	△ 3	△ 34.6%	15	4	36.2%	0
調整後親会社の所有者に帰属する中間利益 ※2	675	△ 90	△ 11.7%	1,775	△ 55	△ 3.0%	-

※1 「事業利益からの調整項目」の内訳は、2025年以降は実績のみの開示に変更。

※2 親会社の所有者に帰属する当期利益から事業ポートフォリオ再構築及び減損損失など一時的な特殊要因を控除したもの。

< 上期実績 >

- 営業利益は、事業統合関連費用は減少したが、セグメント変更に伴う減損損失の発生などにより、前年比△11.4%
- 親会社の所有者に帰属する中間利益は、金融収支の悪化などにより前年比△23.1%
- 計画比では、主に減損損失の発生により、営業利益、親会社の所有者に帰属する中間利益ともに計画を下回る進捗

< 年間予想 >

- 営業利益は、上期の減損損失の発生などを織り込み、前年比△5.2%に下方修正
- 親会社の所有者に帰属する当期利益は、金融収支の悪化などにより前年比△12.8%に下方修正
- 調整後親会社の所有者に帰属する当期利益は、前年比△3.0%の計画を据え置き

財政状態計算書・CF計算書・各種指標

(億円)	上期	増減	前期末比(%)	2025年 修正予想	増減	前期末比(%)	年初予想比
資 産 合 計	54,323	289	0.5%	54,370	336	0.6%	760
資 本 合 計	26,759	18	0.1%	25,640	△ 1,101	△ 4.1%	△ 320
金 融 債 務 残 高※1	14,478	1,686	13.2%	14,030	1,238	9.7%	1,080
Net DEレシオ	-	-	-	0.52	0.15	-	0.05
Net Debt / EBITDA (倍)	-	-	-	3.11	0.62	-	0.27
(参考) EBITDA	1,765	△ 66	△ 3.6%	4,314	124	3.0%	46

※1 前期末比の増減内訳：金融債務の借入・返済額+1,478億円、円安による外貨建て金融債務の為替換算等+208億円

営 業 活 動 CF	△ 26	△ 1,020	-	2,910	△ 1,127	-	△ 320
投 資 活 動 CF	△ 1,213	△ 355	-	△ 2,130	△ 943	-	130
財 務 活 動 CF	927	1,345	-	△ 1,020	1,708	-	△ 50
フ リ ー CF	△ 727	△ 1,073	-	1,300	△ 1,760	-	△ 250
E P S (円)	-	-	-	112.7	△ 13.9	-	△ 5.3
R O I C	-	-	-	6.9%	- %	-	- %
R O E	-	-	-	6.4%	△ 1.1%	-	△ 0.3%
D O E	-	-	-	3.0%	0.1%	-	- %
一株当たり配当金 (円)	26.0	4.0	-	52.0	3.0	-	-
配当性向	-	-	-	46.1%	7.4%	-	2.1%

< 上期実績 >

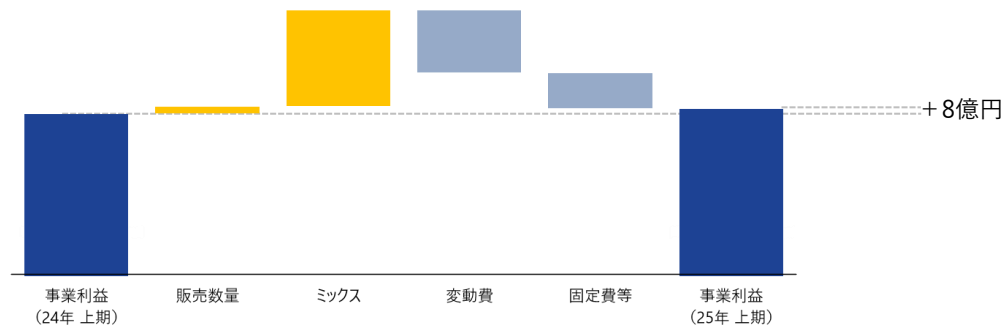
- BS：資産合計は、ユーロ高やのれんの増加などにより、前期末比+289億円
- BS：金融債務は、ユーロ債償還に向けた新規の社債発行により、前期末比1,686億円の増加
- CF・配当：前年の一時影響の反動による営業CF減少や設備投資の増加影響もあり、FCFは△727億円。年間配当は1株4円の増配

< 年間予想 >

- BS：資産合計は、設備投資やのれんの増加などにより、前期末比+336億円
- BS：金融債務は、前期末比1,238億円の増加を見込み、Net Debt/EBITDAは劣後償還の影響もあり3.11倍に上昇
- CF・配当：FCFは、設備投資の増加に加え、前年の一時影響の反動により前年から減少し1,300億円を創出。年間配当は1株3円の増配

(億円)	上期	増減	前年比(%)	2025年 修正予想	増減	前年比(%)	年初予想比
売上収益	6,491	112	1.8%	14,237	456	3.3%	109
事業利益	568	8	1.4%	1,404	74	5.5%	32
日本事業別売上収益							
酒類事業	3,748	57	1.5%	8,354	204	2.5%	74
飲料事業	1,902	70	3.8%	4,045	155	4.0%	△ 42
食品事業	681	44	6.9%	1,500	154	11.4%	133

<利益増減要因：上期実績>



<上期実績>

- 売上収益は、各事業で価格改定効果などにより増収となり、トータルでは前年比+1.8%
- 事業利益は、飲料や食品は減益だが、酒類や東アジアが増益となり、トータルでは前年比+1.4%
- 計画比では、売上収益は下回る進捗だが、事業利益は、飲料・食品の下振れを酒類・東アジアでカバーし、トータルでは計画を上回る進捗

<年間予想>

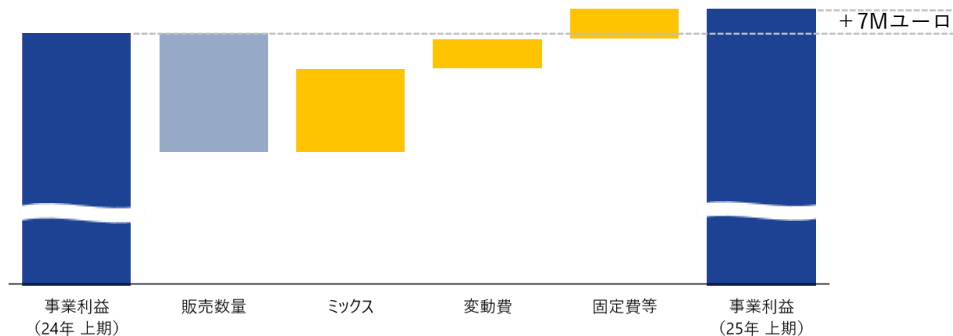
- 売上収益は、飲料は下方修正だが、酒類と新規連結効果を含む食品の上方修正により、トータルでは前年比+3.3%に上方修正
- 事業利益は、酒類における洋酒・RTD・ノンアルコール飲料の増収効果や地域統括会社のコスト効率化などにより、トータルでは前年比+5.5%に上方修正

(百万ユーロ)	上期	増減	前年比(%)	2025年 修正予想	増減	前年比(%)	年初予想比
売上収益	2,197	△ 61	△ 2.7%	4,564	△ 31	△ 0.7%	△ 164
事業利益	290	7	2.3%	652	20	3.2%	6
酒税抜き売上収益	1,813	△ 54	△ 2.9%	3,753	△ 56	△ 1.5%	△ 136

※現地通貨のユーロ換算に伴う為替影響を除く

※前年比は前年レート比較、予想比は予想レート比較

<利益増減要因：上期実績>



<上期実績>

- 売上収益は、一部地域の需要減少や天候不順などにより、前年比△2.7%
- 事業利益は、プレミアム化によるミックス改善と変動費の抑制により、前年比+2.3%
- 計画比では、売上収益は、数量減少により未達だが、変動費と固定費の効率化によりカバーし、事業利益は計画ラインの進捗

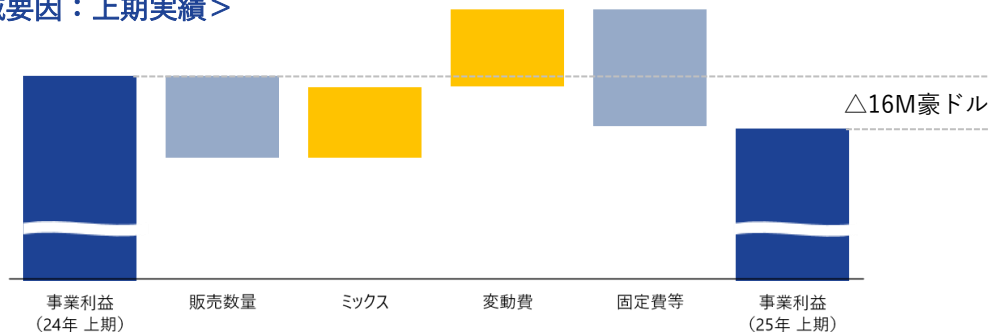
<年間予想>

- 売上収益は、下期の需要回復を図るが、上期の進捗などを踏まえ、前年比△0.7%に下方修正
- 事業利益は、戦略投資を継続するが、コストマネジメントの強化により、前年比+3.2%に上方修正

(百万豪ドル)	上期	増減	前年比(%)	2025年 修正予想	増減	前年比(%)	年初予想比
売上収益	3,680	71	2.0%	8,168	344	4.4%	△ 69
事業利益	398	△ 16	△ 4.0%	1,114	25	2.3%	△ 21
酒税抜き売上収益	2,532	4	0.2%	5,669	245	4.5%	5
オセアニア合計	2,178	△ 31	△ 1.4%	4,930	189	4.0%	△ 11
(酒類)	1,385	△ 50	△ 3.5%	3,220	87	2.8%	△ 35
(飲料)	793	20	2.6%	1,710	100	6.2%	23

※酒税抜き売上収益は、豪州とNZにおけるコンテナデポジット（保証金）を除く

<利益増減要因：上期実績>



<上期実績>

- 売上収益は、主にオセアニア酒類は減収だが、オセアニアや東南アジアの飲料が前年を上回り、前年比+2.0%
- 事業利益は、酒類の数量減少や固定費等のコストアップにより、前年比△4.0%
- 計画比では、売上収益は計画ラインだが、事業利益は、主にオセアニアにおけるコスト全般の効率化により、計画を上回る進捗

<年間予想>

- 売上収益は、主に東南・南アジア酒類の販売計画を見直し、トータルでは前年比+4.4%に下方修正
- 事業利益は、東南・南アジア酒類の下方修正により、トータルでは前年比+2.3%に下方修正



参考資料

為替影響（上期実績）

< 主要通貨為替レート推移 >

(億円)	上期	前年	(為替影響込み)		為替影響	(為替一定)	
			増減	前年比(%)		増減	前年比(%)
日本・東アジア	6,491	6,379	112	1.8%	-	112	1.8%
欧州	3,564	3,703	△ 139	△ 3.8%	△ 39	△ 100	△ 2.7%
アジアパシフィック	3,462	3,621	△ 159	△ 4.4%	△ 230	72	2.0%
その他	124	133	△ 9	△ 6.5%	△ 7	△ 2	△ 1.3%
調整額（全社・消去）	△ 46	△ 46	1	-	1	△ 0	-
売上収益	13,596	13,790	△ 194	△ 1.4%	△ 276	82	0.6%
日本・東アジア	568	560	8	1.4%	-	8	1.4%
欧州	471	465	6	1.3%	△ 5	11	2.3%
アジアパシフィック	374	415	△ 41	△ 9.9%	△ 25	△ 16	△ 4.0%
その他事業	23	29	△ 7	△ 22.6%	△ 1	△ 5	△ 18.3%
調整額（全社・消去）	△ 147	△ 114	△ 33	-	0	△ 33	-
無形資産償却費	△ 192	△ 197	5	-	6	△ 1	-
事業利益	1,097	1,159	△ 62	△ 5.4%	△ 25	△ 37	△ 3.2%

(円)	2025年 上期	2024年 上期
ユーロ	162.3	164.7
豪ドル	94.1	100.3

為替影響（年間修正予想）

(億円)	2025年 修正予想	前年	(為替影響込み)		為替影響	(為替一定)	
			増減	前年比(%)		増減	前年比(%)
日本・東アジア	14,237	13,781	456	3.3%	-	456	3.3%
欧州	7,486	7,628	△ 143	△ 1.9%	△ 91	△ 51	△ 0.7%
アジアパシフィック	7,678	7,828	△ 150	△ 1.9%	△ 494	344	4.4%
その他	263	265	△ 2	△ 0.7%	△ 11	9	3.5%
調整額（全社・消去）	△ 163	△ 107	△ 56	-	-	△ 56	-
売 上 収 益	29,500	29,394	106	0.4%	△ 596	702	2.4%
日本・東アジア	1,404	1,330	74	5.5%	-	74	5.5%
欧州	1,070	1,046	24	2.2%	△ 10	33	3.2%
アジアパシフィック	1,047	1,090	△ 43	△ 3.9%	△ 67	25	2.3%
その他事業	42	42	0	0.1%	△ 2	2	5.5%
調整額（全社・消去）	△ 279	△ 263	△ 16	-	-	△ 16	-
無形資産償却費	△ 384	△ 394	10	-	10	△ 0	-
事 業 利 益	2,900	2,851	49	1.7%	△ 69	118	4.1%

< 主要通貨為替レート推移 >

(円)	2025年 修正予想	2024年 実績
ユーロ	164.0	164.1
豪ドル	94.0	100.1

< 2025年主要通貨為替感応度 >

(億円)	売上収益	事業利益
ユーロ	±46	±7
豪ドル	±82	±11

※ 1円変動による影響額（通期）
 ※ 無形資産償却額に対する為替影響は含んでいません。
 ※ 為替影響 = 現地通貨業績の円換算における影響
 （貿易為替影響除く）

日本・東アジア（日本酒類：売上収益・販売数量）

（億円）

※リベート控除前	上期	増減	前年比(%)	2025年 修正予想	増減	前年比(%)	年初予想比
ビール類	2,613	△ 52	△ 2.0%	5,955	27	0.5%	△ 41
洋酒	357	18	5.4%	771	43	6.0%	42
RTD	255	52	25.8%	552	83	17.7%	70
ワイン	210	△ 2	△ 0.8%	464	8	1.9%	5
焼酎	93	△ 7	△ 7.1%	187	△ 19	△ 9.2%	△ 7
アルコールテイスト飲料	253	32	14.6%	564	37	7.1%	24

（万箱）	上期	増減	前年比(%)	2025年 修正予想	増減	前年比(%)	年初予想比
スーパードライ	3,065	△ 134	△ 4.2%	7,015	△ 319	△ 4.3%	△ 175
スタイルフリー	542	△ 24	△ 4.2%	1,175	△ 34	△ 2.8%	△ 15
クリアアサヒ	547	△ 49	△ 8.2%	1,125	△ 121	△ 9.7%	15

（前年比）	上期		
※数量ベース	（瓶）	（缶）	（樽）
ビール類	△6%	△5%	△3%
ビール	△6%	△1%	△3%

（前年比）	【参考】ビール類市場	
※数量ベース	上期	2025年 修正予想
ビール類	△3～4%	△6%程度
ビール	△0～1%	△2～3%
発泡酒+新ジャンル	△7～8%	△10%程度

日本・東アジア（日本飲料：販売数量）

（万箱）	上期	増減	前年比(%)	2025年 修正予想	増減	前年比(%)	年初予想比
販売数量	12,146	△ 50	△ 0.4%	25,630	△ 124	△ 0.5%	△ 430
三ツ矢	1,785	△ 165	△ 8.4%	3,870	△ 252	△ 6.1%	△ 260
ウィルキンソン	1,528	△ 57	△ 3.6%	3,270	△ 99	△ 2.9%	△ 110
カルピス	1,596	△ 94	△ 5.6%	3,360	△ 165	△ 4.7%	△ 170
ワンダ	1,302	64	5.2%	2,560	45	1.8%	△ 110
十六茶	984	123	14.3%	2,030	149	7.9%	30
おいしい水	951	48	5.3%	1,930	79	4.3%	△ 210

（前年比）	容器別
※数量ベース	上期
缶	△2.4%
PET合計	+0.7%
PET大型	△1.1%
PET小型	+1.3%

（前年比）	【参考】 飲料市場	
※数量ベース	上期	2025年 修正予想
合計	△2%程度	△2%程度

(億円)	第1四半期	(為替一定)		第2四半期	増減	前年比(%)	上期	(為替一定)	
		増減	前年比(%)					増減	前年比(%)
日本・東アジア	3,085	225	7.9%	3,406	△ 113	△ 3.2%	6,491	112	1.8%
欧州	1,392	△ 17	△ 1.2%	2,172	△ 82	△ 3.6%	3,564	△ 100	△ 2.7%
アジアパシフィック	1,790	△ 27	△ 1.4%	1,672	98	5.6%	3,462	72	2.0%
その他	59	△ 6	△ 9.2%	66	4	6.7%	124	△ 2	△ 1.3%
調整額 (全社・消去)	△ 21	△ 1	-	△ 25	1	-	△ 46	△ 0	-
売上収益	6,304	173	2.8%	7,291	△ 91	△ 1.2%	13,596	82	0.6%
日本・東アジア	273	79	40.7%	295	△ 71	△ 19.4%	568	8	1.4%
欧州	77	11	16.5%	394	△ 0	△ 0.1%	471	11	2.3%
アジアパシフィック	184	△ 38	△ 16.8%	191	21	11.3%	374	△ 16	△ 4.0%
その他事業	10	△ 10	△ 48.8%	12	5	63.5%	23	△ 5	△ 18.3%
調整額 (全社・消去)	△ 71	△ 23	-	△ 76	△ 10	-	△ 147	△ 33	-
無形資産償却費	△ 96	△ 0	-	△ 96	△ 1	-	△ 192	△ 1	-
事業利益	377	18	4.9%	720	△ 55	△ 6.9%	1,097	△ 37	△ 3.2%

※第1四半期および上期の前年増減・前年比は、当年の外貨金額を、前年第1四半期および上期の為替レートで円換算し算出。
第2四半期は、第1四半期と上期の差し引きで算出。



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。